

ユネスコチェアとは

- ユニツイン (UNITWIN: University Twinning) ／ ユネスコチェア (UNESCO Chairs) とは、知の交流と共有を通じて、高等教育機関および研究機関の能力向上を目的とするプログラムです。[高等教育機関の国際的な連携・協働を促進する](#)ことにより、人的・物的資源の[シンクタンク](#)として、また教育・研究機関、地域コミュニティ、政策立案者間の[橋渡しの存在](#)としての役割を担うことを目指します。
- (1) ユネスコチェア (UNESCO Chairs) : 851講座 (2021年8月現在)
 - チェアホルダー (責任者)、講師、研究者、学者から成る新たな教育・研究ユニットとして、大学または他の高等教育機関に設置
 - 大学の部局内に新たに設置、または既存のプログラムの拡充により設置が可能
 - 大学の学長とユネスコ事務局長の間での覚書署名により発効
 - 4年ごとに更新
- (2) 大学間ネットワーク (UNITWIN Networks) : 45ネットワーク (2021年8月現在)
<https://www.mext.go.jp/unesco/004/1385299.htm>

- (3)プロジェクトの経費
 - ユネスコからの財政支援は行われない
 - ユニツイン／ユネスコチェア事業申請機関が**独自に資金調達**を行う
- (4)プロジェクトの機能
 - ユネスコチェアホルダーまたはユニツインネットワークコーディネーターの責任の下、
 - 1) 非伝統的分野でのプログラム開発
 - 2) 教員・学生交流の実施
 - 3) 関係分野の授業実施
 - 4) ユネスコの戦略に沿った研究の実施
 - 5) ワークショップ・セミナー・国際会議等の開催
 - 6) 刊行物の発行
 - 7) バーチャルコミュニティへの参加等を行う
 - 中間年レポートと最終レポート(5月31日締切り)をユネスコ本部に提出
 - ユネスコのロゴの入ったロゴを使用可能
- (5)プロジェクトの更新
 - 更新を希望する場合は書面でユネスコ事務局長宛に提出
 - 実績に基づく評価を踏まえ、ユネスコ本部が更新可否を決定する



UNESCO Chair on Education in Biosphere Reserves for Sustainable Societies

生物圏保存地域を活用した持続可能な社会のための教育

Hiroyuki Matsuda 松田裕之
Yokohama National University (YNU)

2021/1/12

Last updated on 2021/3/7



チェア概要案Chair on Education in Biosphere Reserves for Sustainable Societies

- 先進国及び途上国のBR内外の住民にとって持続可能な開発目標(SDGs)のモデルとなる生物圏保存地域 (BR) から得られる教訓の活用法を検討する。特にBR地域の自然の恵みの恩恵を得る周辺住民の保全活動 (生態系サービスへの支払い)、炭素クレジットなど気候変動への貢献、技術革新の環境配慮、防災減災、海洋開発、クリーンエネルギー、循環型社会の発展とともに、BRsを用いたSDGsに資する人材育成教育の実験プログラムとして、問題解決型学習 (PBL) のための海外との研修生交換を含む「MAB/SDGs副専攻プログラム」を設置する。さらに、附属小中学校を含むユネスコスクールのネットワークにおいてこれらの理念を含むESD教材の改訂と英訳、SDGs教材づくりを進めるとともに、その啓蒙教育活動および広報活動を国内外に展開する。

協定案

- 本講座の目的は、より持続可能な社会の実現に向けて、生物圏保護区における持続可能な開発のための教育に関する研究、研修、情報、資料の統合システムを推進することである。本講座は、日本国内およびアジア・太平洋地域や世界の他の地域における、国際的に著名な研究者や教員による共同研究を促進するものである。
- 生物圏保護区と、その生態系サービスから直接的・間接的に利益を得ている相互に関連する都市部との相互利益の関係を調査し、教材を提供し、「MAB/SDGsのためのマイナー教育プログラム」を確立すること。 - 教育プログラムのパイロットとして、横浜国立大学で「MAB/SDGsのための国際プロジェクトベースラーニング（PBL）トレーニングコース」を開発する。

横浜国立大学MAB/PES研究会(案)

氏名(案)	所属	役割(案)
伊集守直	国社・P	水源税制度
居城 琢	国社・P	Water Footprint
酒井暁子	環情・P	MAB専門家
松田裕之	環情・P	MAB専門家
倉田薫子	教育・AP	甲武信BR
泉真由子	教育・P	ESD担当
大野かおる	理工・P	副専攻P
蛭名喜代作	理事	神奈川県
及川敬貴	環情・P	環境法
佐土原聡	都イ・P	拡大流域圏
小池文人	環情・P	里山生態
	環情・P	水質リスク
	環情・P	相模湾

趣旨（案）：神奈川県の水源林の意義と課題をユネスコ「人間と生物圏（MAB）計画」及びSDGsの観点から検討する文理融合の学内チーム

内容（案）：横浜国大が申請するUNESCO Chairを中心に BR, MAB 活動を中心とする環境保全活動、奥山の水源とそれを使う都市住民の関係、防災減災（DRR）活動、気候変動緩和策と適応策の活動（CO₂削減、炭素固定、ゴミ処理、リサイクル、クリーンエネルギー、都市工学など、実際に神奈川県などがSDGsとして取り組む諸活動）を一体のものとして地方行政等に科学的知見および人材育成の面から協力することを目指す。

What to do for this purpose?

1. provide teaching materials including lecture **videos**,
2. establish the “**MAB/SDGs** Minor Programme using Biosphere Reserves for international students” at YNU as a pilot education program,
3. develop joint research on utilization of **the MAB Programme for residents inside/outside the BR**,
4. revise the ESD Guidebook for Teachers utilizing BRs and make its English version
5. develop a network of learning sites within JBRN and other BRs linked by the partner universities.
6. The chair will provide international short-term training courses held at YNU.



(Planned) Minor Programs in Yokohama National University

All YNU Entry: Faculty of Engineering Science, Faculty of Urban Sciences,
Faculty of Education, Faculty of Economics, Faculty of Business Administration

Both Undergraduate and Graduate Programs

Core MAB Subjects

+

SDGs Subjects

+

Overseas Training



THE UNIVERSITY OF DANANG

in Vietnam



in Thailand



in U.S.A.

Port-city Universities League
国際みなとまち大学リーグ



Welcome to
the Port-city Universities league (PUL) Official Website

Japanese English

Project-based Learning: Oversea training course

Past Achievements

Special lectures by YNU faculties since 2017 at Da Nang University of Technology
JST Sakura Science Program for Students of Da Nang University of Technology

In the UNESCO Chair Programme

-We will conduct overseas training course based on Project-based Learning (PBL) tailored to the development of environment-friendly technology learned from BRs.

*This will be a “Key course” in the minor education programme)

-The international SDGs network will be established under the deep and strong collaborations with partner universities.



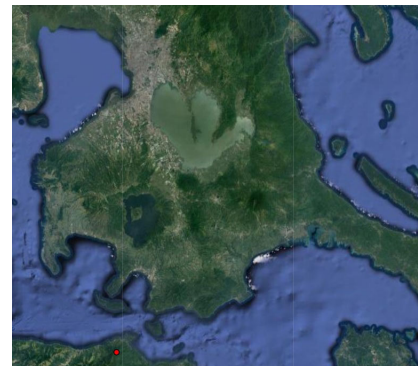
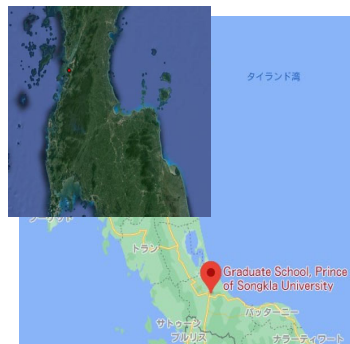
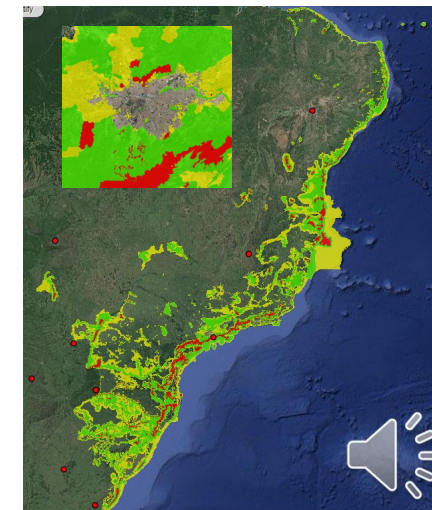
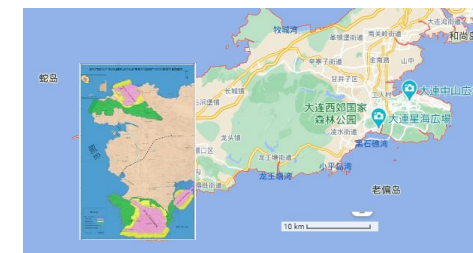
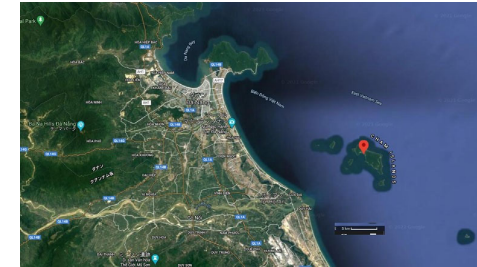
Special PBL lectures at Da Nang University of Technology

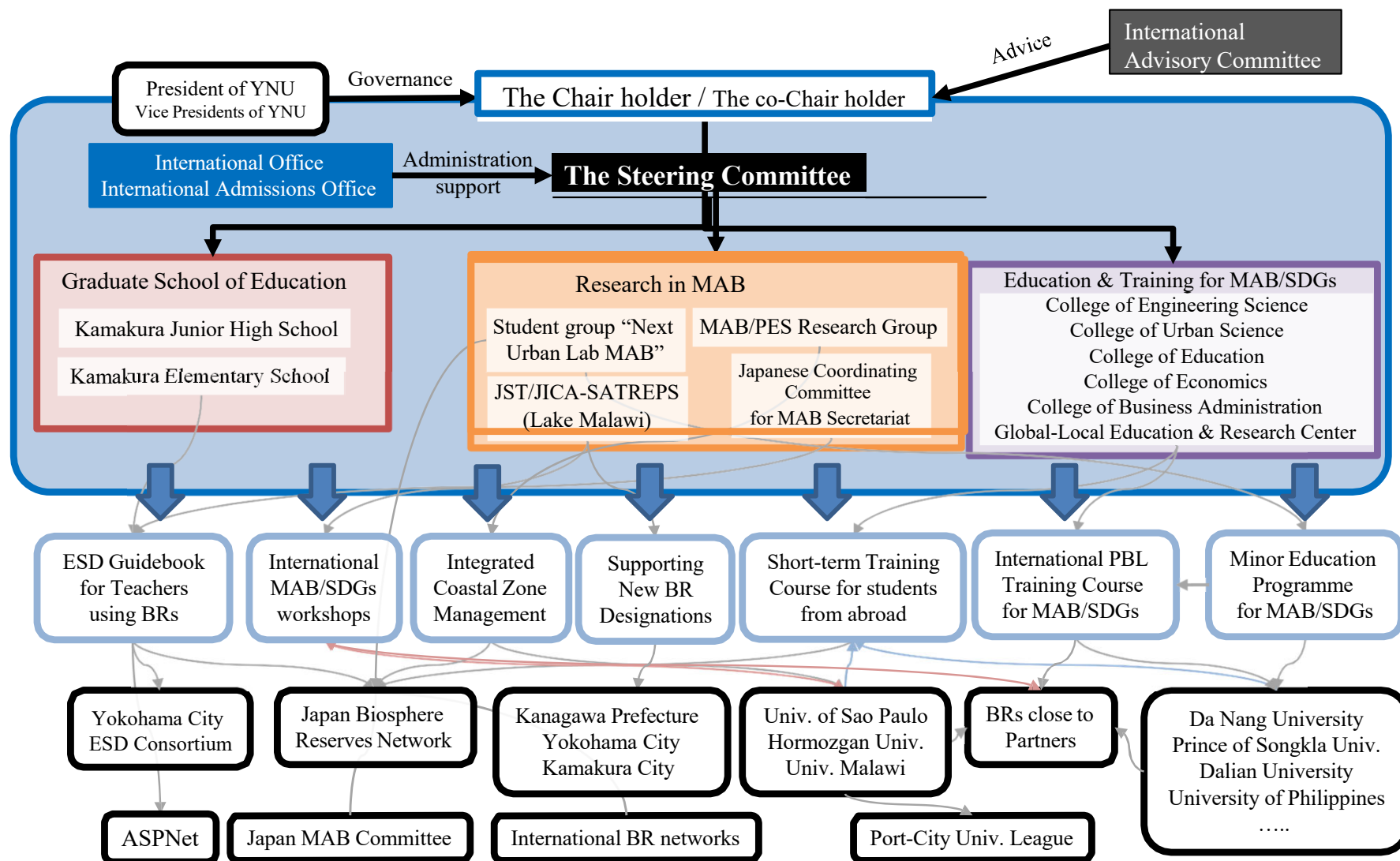


JST* SAKURA Science Program

Partner universities and BRs

- Danang Univ. –[Cu Lao Cham](#) –[Hoi An](#)
- *Univ. of São Paulo –Mt. Atlântika
- Dalian Univ. –Snake Is. & Mt. Laotie (蛇島老鉄山)
- *Prince of Songkla Univ. –Ranong BR
- Univ. of Hormozgan –Hara BR
- Univ. of Philippines –Puerto Galera BR
- Univ. of Malawi –Lake Malawi WH





運営態勢

- ユネスコチェア運営委員会（～国際戦略室運営委員会）
- ユネスコチェア・MAB/SDGs副専攻プログラム運営委員会
- Project-based Learning/海外研修（詳細未定）
- MAB/PES研究会（本組織）
- 国際助言委員会（詳細未定）

国際ネットワークについて

今後の予定

- 2/8-10 “[YNU Spring Program 2021](#)
M. Clüsener-Godt (former UNESCO), 松田
- 3/1 Clüsener-Godt 教授着任（在仏）
- 3/8 日本学術会議地球惑星部会「ユネスコ
MAB計画の可能性」松田
- 4月 MAB/SDGs副専攻プログラム開始
- 秋 ブルーカーボンWebinar（予定）